

各位

株式会社 栗本鐵工所

導水管路耐震化（二重化）事業
設計・施工一括発注にて
津軽広域水道企業団と基本協定を締結

株式会社栗本鐵工所（代表取締役社長：菊本一高）は栗本・丸勘建設・日本水工設計特定共同企業体として、津軽広域水道企業団が設計・施工一括発注方式（DB方式）で発注した「導水管路耐震化（二重化）事業」について、公募型プロポーザル方式による審査に基づき2024年2月29日付で基本協定を締結しました。

1. 事業概要

事業名称	： 導水管路耐震化（二重化）事業
入札方式	： 公募型プロポーザル方式
事業方式	： 設計・施工一括発注方式（DB方式）
契約方式	： 多段階契約方式（設計業務委託契約と工事請負契約を段階的に締結）
事業者	： 栗本・丸勘建設・日本水工設計特定共同企業体
見積上限価格	： 4,798,560,000円
業務内容	： 調査業務、設計業務、工事業務
開削区間	： 6,710m（NS形φ900×6,670m、NS形φ800×40m）
推進区間	： φ900×3箇所
水管橋	： φ900×1箇所

2. 背景

本事業は津軽広域水道企業団により2019年3月に策定された「津軽広域水道用水供給事業ビジョン（平成30年度改訂版）」に掲げる『管路の耐震化とバックアップ機能強化』を実現するための施策となっています。事業内容は現在単線である導水管を、耐震継手を有するダクタイル鉄管で二重化することにより、バックアップ機能を構築するものです。

大規模かつ長期の事業であることから、職員の業務負担軽減、事業者の技術を活かした高い品質管理と効率的な工程管理、地元企業の人材育成・確保等を目的として設計・施工一括発注方式（DB方式）が導入されました。当JVは適切な工区割りによる工期遵守および地元企業との協業による地元経済への貢献を実現してまいります。

3. 事業期間

2024年2月29日～2031年3月31日（予定）

当社は、今後も人々の生活を支える上下水道という社会インフラの維持更新に向け、ダクタイル鉄管の管材メーカーとして材料の安定供給に加えて、これまでに培われた信頼、ノウハウを活用し、調査、設計、施工および施工管理といった幅広いソリューションを提供してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ
株式会社栗本鐵工所 東京支社 パイプシステム事業部
PPP統括本部
電話 03-3450-8513